

Canon

RF

7-14mm F2.8-3.5 L
FISHEYE STM

使用説明書

安全上のご注意.....	2
一般的なご注意.....	3
各部の名称	4
1. レンズの取り付け／取り外し	5
2. フォーカスモードの選択.....	7
3. ズーミング	8
4. コントロールリング	13
5. レンズファンクションボタン (AF ストップボタン)	14
6. フード.....	15
7. レンズキャップ.....	17
8. ドロップインフィルター	18
9. ノーダルポイント.....	21
主な仕様.....	22



JPN

キヤノン製品のお買い上げ誠にありがとうございます。

キヤノンRF7-14mm F2.8-3.5 L FISHEYE STMは、EOS Rシリーズカメラ用のフィッシュアイズームレンズです。

- STMはStepping Motor (ステッピングモーター) の略称です。

本文中のマークについて

-  撮影に不都合が生じる可能性のある注意事項などが書いてあります。
-  基本操作に加えて知っておいていただきたい事項が書いてあります。

カメラのファームウェアとカメラアプリケーションについて

お使いのカメラのファームウェアと、対応したカメラアプリケーションは最新のバージョンにしてください。それらの最新バージョンの有無やアップデート方法については、キヤノンのホームページで確認してください。

安全上のご注意

安全に使っていただくための注意事項です。必ずお読みください。お使いになる方と他の人々への危害や障害の発生を防ぐためにお守りください。

⚠ 警告 死亡や重傷を負う可能性がある内容です。

- レンズを通して、太陽や強い光源を直接見ないでください。失明の原因となります。
- レンズキャップを取り付けていないレンズを、日光下に放置しないでください。レンズに入った太陽光が集まり、故障や火災の原因となります。

⚠ 注意 傷害や、製品以外の物的損害を負う可能性がある内容です。

- 製品を高温や低温となる場所に放置しないでください。製品に触れるとやけどやけがの原因となります。
- 製品の内部には手を入れないでください。けがの原因となります。

一般的なご注意

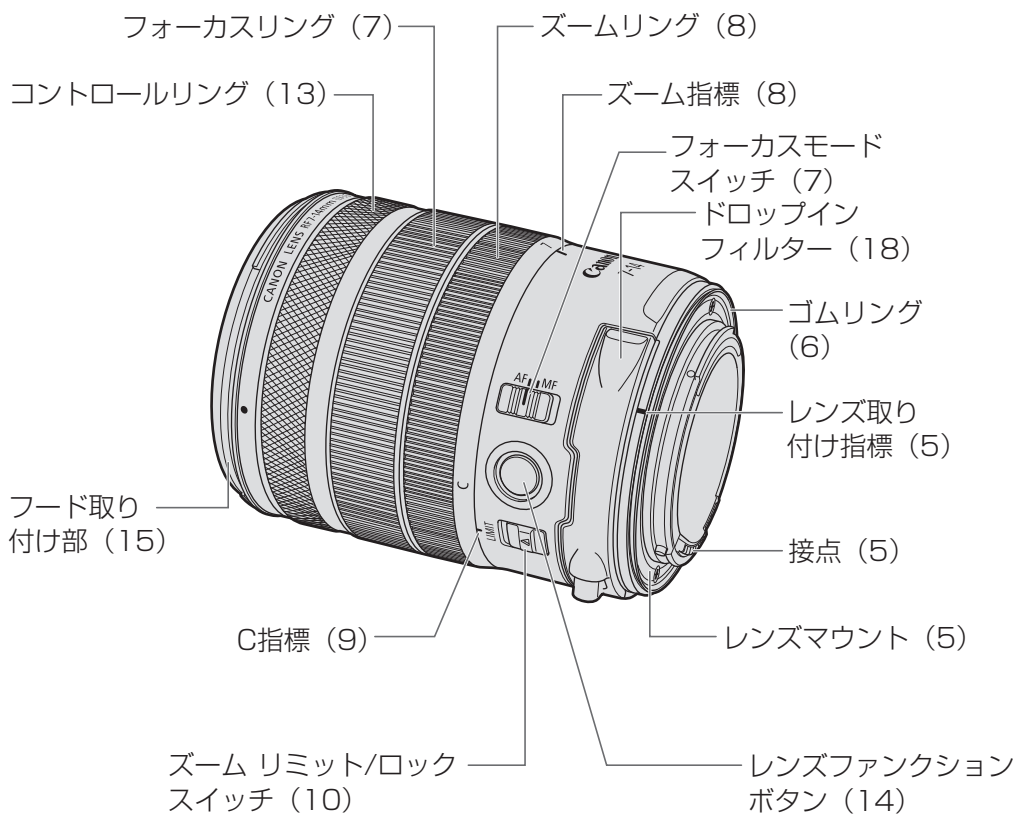
取り扱い上のご注意

- 日光下の車の中など、高温となる場所に製品を放置しないでください。故障の原因となります。
- レンズを寒い場所から暖かい場所に移すと、レンズの外部や内部に水滴が付着（結露）することがあります。そのようなときは、事前にレンズをビニール袋に入れて、周囲の温度になじませてから、取り出してください。また、暖かい場所から寒い場所に移すときも、同様にしてください。
- 適切な絞り制御のため、絞り優先AEやマニュアル露出などの絞り数値を指定した撮影時であっても、ズーミングやピント合わせによって絞り羽根が動くことがあります。
- カメラの使用説明書の取り扱いに関する記載もご覧ください。

撮影上のご注意

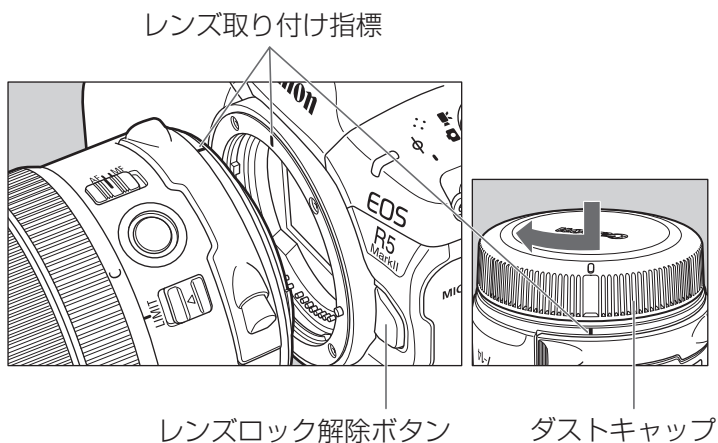
- このレンズは焦点距離が短く、前玉のゴミやほこりが画像に写り込みやすいため注意が必要です。前玉のゴミやほこりは、市販のプロアーで吹き飛ばしてください。
- このレンズは画角が極端に広く、太陽等の強い光源が画面内に入りやすいため、撮影条件によってはフレアーやゴーストが発生します。それを防ぐために日陰からの撮影など、レンズに強い光が入射しないよう、光源の位置に注意をしながら撮影することをおすすめします。
- 手持ち撮影時は自分の身体が、三脚使用時は三脚の脚部が、画面に写り込みやすいため注意が必要です。カメラのファインダーまたはモニターで充分に確認してください。
- このレンズは交換レンズのため、全周魚眼のイメージサークルの中心と撮像画面の中心がずれることがあります。同様に、画面の四隅のケラレが均一にならない場合があります。

各部の名称



● (**) の**部は参照ページを示しています。

1. レンズの取り付け／取り外し



レンズの取り付け方

レンズ側とカメラ側のレンズ取り付け指標を合わせ、レンズを時計方向に「カチッ」と音がするまで回します。

レンズの取り外し方

カメラのレンズロック解除ボタンを押しながら、レンズを反時計方向に回します。回転が止まるまで回してから取り外します。

詳しくはカメラの使用説明書をご覧ください。

レンズの取り付け／取り外し



- レンズの取り付け/取り外しを行うときは、カメラの電源スイッチをOFFにしてください。
- レンズを取り外す前に、フードとレンズキャップを取り付けてください。
- レンズを取り外したときは、接点やレンズ面を傷つけないように、レンズマウント側を上にして置き、ダストキャップを取り付けてください。ダストキャップを取り付けるときは、レンズ側とダストキャップ側の取り付け指標を合わせてください。
- 接点に傷、汚れ、指紋などが付くと接触不良や腐食の原因になり、動作不良を起こすことがあります。汚れなどが付いたときは、柔らかい布で接点を清掃してください。
- 防じん・防滴性能の向上のために、このレンズではレンズマウントにゴムリングが付いています。このゴムリングにより、カメラのレンズマウント周辺に細い擦れ跡が付くことがありますが、使用上の問題はありません。

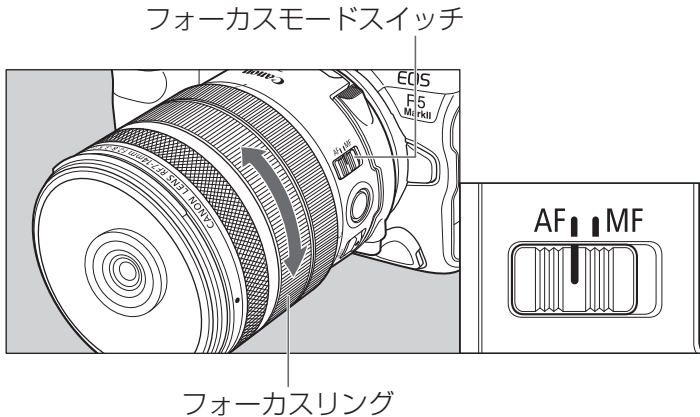


- ゴムリングはキヤノンサービスセンターで交換できます。(有料)

2. フォーカスモードの選択

オートフォーカス（AF）で撮影するときは、フォーカスモードスイッチをAFにします。

マニュアルフォーカス（MF）で撮影するときは、フォーカスモードスイッチをMFにし、フォーカスリングを手で回してピントを合わせます。



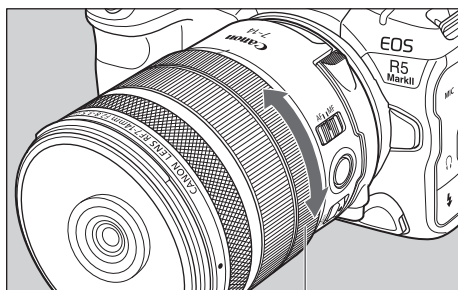
● フォーカスリングを急回転させた場合、ピント合わせが遅れることがあります。

- このレンズのフォーカスリングは電子式です。
- このレンズは、レンズの電子式手動フォーカス、および電子式フルタイムMFに対応しています。
- 動画撮影時は、静止画撮影時よりもAF速度が遅くなります。動画サーボAFを「する」に設定すると、カメラ側でAF速度の調整を行うことができます。

詳しくはカメラの使用説明書をご覧ください。

3. ズーミング

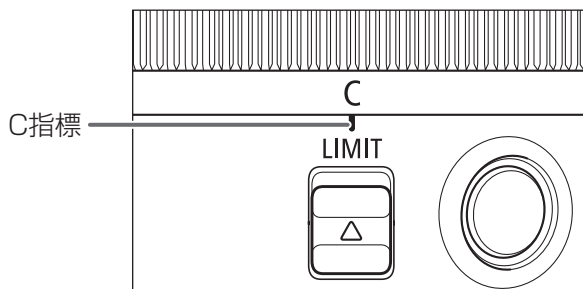
ズームリングを手で回してズームリングします。



ズームリング

- ピント合わせはズームしたあとで行ってください。ピントを合わせてからズームすると、ピント誤差が生じることがあります。
- ズームリングを急回転させた場合、一時的にピントがボケることがあります。

ズームリング



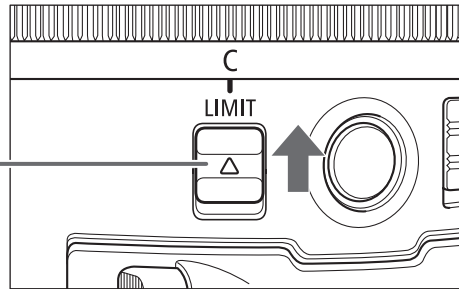
「C」の表示

ズームリングの「C」の表示位置は、APS-Cサイズの撮像画面サイズを持つEOS Rシリーズカメラにおいて、ケラレのない対角線魚眼の撮影ができる目安のズーム位置です。

C指標をズームリングの「C」の表示に合わせます。

ズーミング

ズーム リミット/
ロック スイッチ



ズーム リミット/ロック スイッチ

ズーム リミット/ロック スイッチにより、ズーム範囲を制限することができます。

- 撮像画面サイズがフルサイズの場合、ワイド端でズーム範囲が固定され、安定した全周魚眼の撮影ができます。
ズーム指標を7に合わせた後に、スイッチをLIMIT側にスライドさせて、ズームロックをかけます。
- 撮像画面サイズがAPS-Cの場合、ワイド側でズーム範囲が制限され、ケラレのない対角線魚眼の撮影ができます。
C指標をズームリングの「C」の表示に合わせた後に、スイッチをLIMIT側にスライドさせて、ズームリミットをかけます。C指標がズームリングの「C」の表示位置では対角線魚眼、それ以外の位置ではケラレのない撮影ができます。

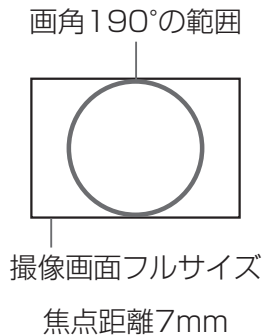
魚眼撮影の説明

このレンズを用いた全周魚眼撮影および対角線魚眼撮影について説明します。

• 全周魚眼撮影

画角190°の範囲が、撮像画面の短辺におさまります。

撮像画面サイズがフルサイズで、ワイド端（焦点距離7mm）の場合です。



* 各焦点距離毎の円の大きさは、撮像面上でのイメージサークルの範囲です。

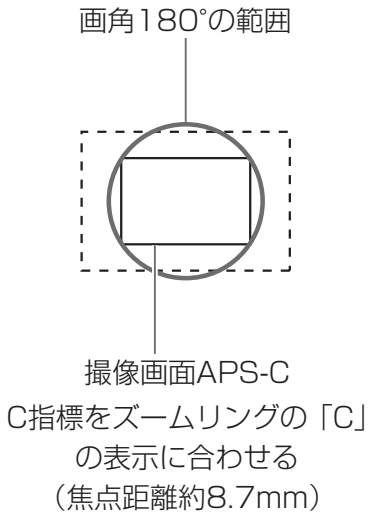
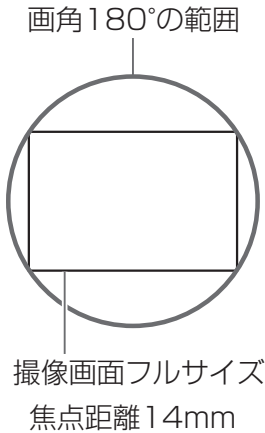
* 円の外側は、イメージサークル外でケラレになる領域です。

ズーミング

● 対角線魚眼撮影

画角180°の範囲が、撮像画面の対角線におさまります。

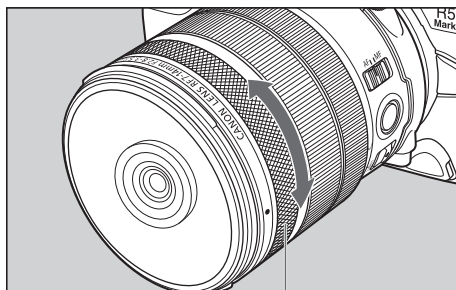
撮像画面サイズが、フルサイズではテレ端（焦点距離14mm）、APS-CではC指標をズームリングの「C」の表示に合わせた（焦点距離約8.7mm）場合に、ケラレのない撮影が可能です。



- AFフレームがイメージサークルよりも外の場合には、オートフォーカスや露出が適正にならないことがあります。AFフレームをイメージサークル内に入れてください。詳しくはカメラの使用説明書をご覧ください。

4. コントロールリング

コントロールリングは、シャッター速度や絞り数値の設定など、カメラでよく使う機能を割り当てて使います。



コントロールリング

コントロールリングは回すとクリックがあり、回した量が分かるようになっていました。

コントロールリングの使い方について、詳しくはカメラの使用説明書をご覧ください。

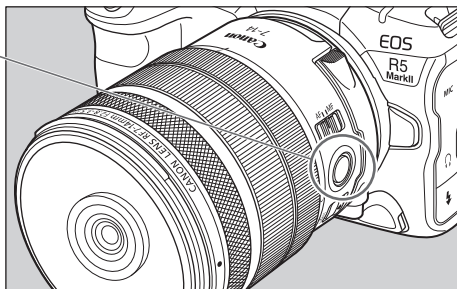
- コントロールリングの操作音は動画撮影中に録音されることがあります。
- キヤノンサービスセンターで、コントロールリングのクリックを無くすことができます。(有料)

5. レンズファンクションボタン (AF ストップボタン)

レンズファンクションボタンは初期状態ではAFストップボタンとして機能します。カメラの「ボタンカスタマイズ」の設定により、他の機能を割り当てることもできます。

詳しくはカメラの使用説明書をご覧ください。

レンズファンクションボタン
(AFストップボタン)



AFストップボタンとして使う

AF中にAFストップボタンを押すと、AFは一時的に停止し、離すとAFは再開します。

撮影距離を保持したいときや、サーチ駆動を避けたいとき、AFストップボタンを押します。

AFストップボタンを押したままでシャッターボタンを押すと、その撮影距離で撮影できます。

- 主にAF動作がサーボAFのときに便利です。

6. フード

専用のフードは、フレアやゴーストの原因となる不要光をさえぎるとともに、雨・雪・ほこりなどからレンズ前面を保護します。

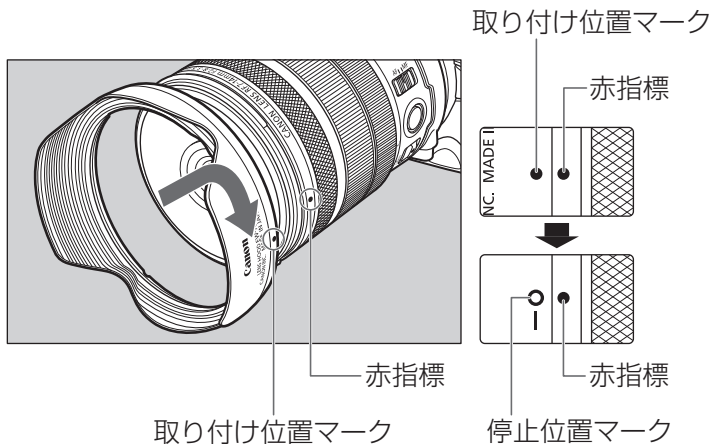
レンズフード使用時、ケラレがなく撮影ができるズーム範囲は、次の通りです。

- ・フルサイズ : テレ端のみ
- ・APS-Cサイズ : テレ端～「C」の範囲（ズーム リミット/ロック スイッチ使用時の範囲）

それ以外の撮影条件では、フードを外して撮影します。

フードの取り付け方

フードの赤い取り付け位置マークとレンズ先端にある赤指標を合わせ、フードを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回します。

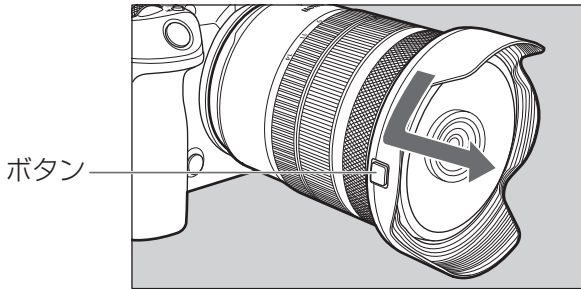


フード

フードの取り外し方

フードの側面にあるボタンを押しながら、フードの取り付け位置マークとレンズ先端にある赤指標が合うまで、フードを矢印の方向に回して取り外します。

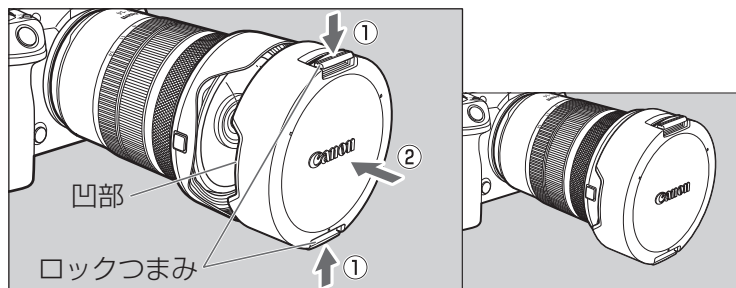
このレンズは、収納時にフードを逆向きにかぶせることはできません。



- フードが正しく取り付けられていないと、撮影画面にケラレが生じることがあります。
- このフードは、レンズキャップを取り付けるときにも使用します。
- フードの取り付けや取り外しをするときは、フードの根元付近を持って回してください。フードの先端付近を持つと変形して回らなくなることがあります。

7. レンズキャップ

レンズキャップは、付属のレンズフードを装着した状態で、フード側面にあるボタンとキャップの凹部を合わせて取り付けます。

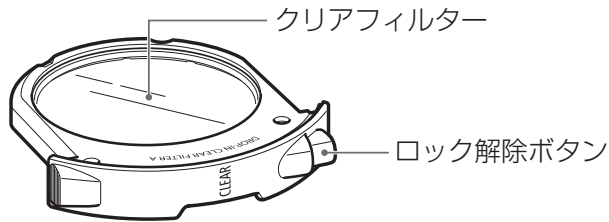


- レンズキャップは、爪をフード先端内側の上下に引っかけて固定する構造になっています。

8. ドロップインフィルター

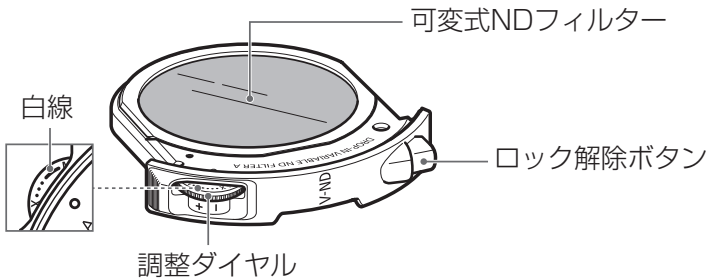
レンズの後部にドロップインフィルターを取り付けることができます。ドロップインフィルターは3種類用意されています（別売）。このレンズにはドロップインクリアフィルター（i. ドロップインクリアフィルター Aと同等品）が同梱されています。

i. ドロップインクリアフィルター A



透明なガラスのフィルターです。

ii. ドロップイン可変式NDフィルター A

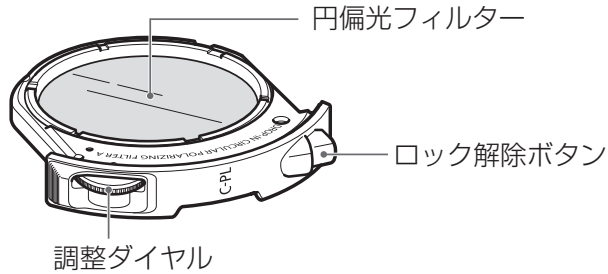


調整ダイヤルを回すことによって濃度が調整できます。

調整範囲：ND3～500（絞り1.5～9段相当）

ドロップインフィルター

iii. ドロップイン円偏光フィルター A



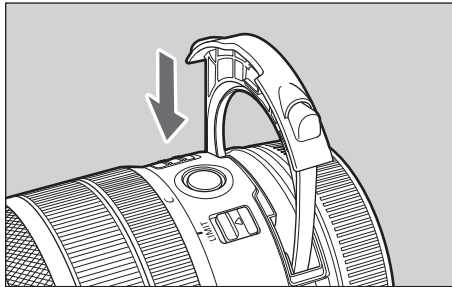
調整ダイヤルを回すことによって偏光角度が調整できます。

ドロップインフィルターの取り外し方

フィルターのロック解除ボタンを押しながら、まっすぐに引き抜きます。

ドロップインフィルターの取り付け方

フィルターを「カチッ」と音がするまで押し込みます。



ドロップインフィルター

- ドロップインフィルターの取り付け／取り外しは、レンズをカメラに取り付ける前に行ってください。レンズをカメラに取り付けた状態でドロップインフィルターの取り付け／取り外しを行うと、カメラに取り付けられている他のカメラアクセサリーと干渉する可能性があります。
- このレンズには、必ずいずれかのドロップインフィルターを取り付けてください。フィルターが無いと、不要な光が入るなど、撮影に影響が出ます。
- ドロップイン可変式NDフィルター Aを取り付けたときは、調整ダイヤルの白線が見えていない範囲（およそND250以上）では、青味がかったり濃度ムラが発生したりする場合があります。
- ドロップイン可変式NDフィルター Aを取り付けたときは、経年によってフィルターの色味や濃度が変化する場合があります。

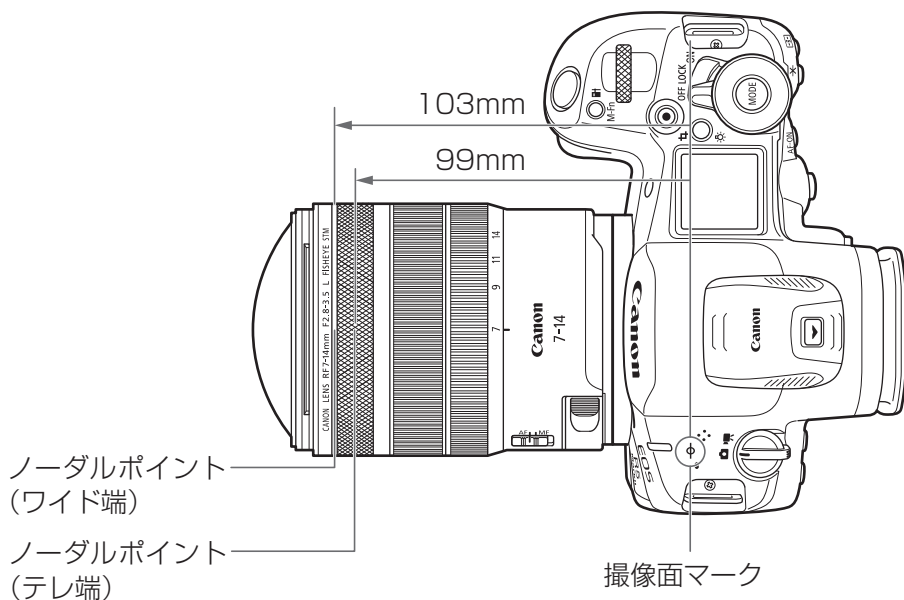
9. ノーダルポイント

ノーダルポイントとは、レンズの視差が小さくなる回転中心位置のことです。

表記の位置を中心にレンズを回転させて撮影すると、視差を減らすことができるため複数枚の画像の重ね合わせに適します。

ノーダルポイントの位置は、各焦点距離に対するカメラの撮像面マークからの距離として、下記の値になります。

焦点距離	7mm (ワイド端)	14mm (テレ端)
カメラの撮像面マークからの距離	103mm	99mm



主な仕様

焦点距離・明るさ	7-14mm F2.8-3.5
レンズ構成	11群16枚
開放絞り数値	F2.8-3.5
最小絞り数値	F22-29 (1/3段表示)、F22-27 (1/2段表示)
画角	水平190° -149° 45'、 垂直190° -99° 50'、 対角190° -180°
最短撮影距離	0.15m
最大撮影倍率	0.35倍 (14mm時)
フィルター	ドロップインフィルター
最大径×長さ	約76.5×109.4mm
質量	約476g
フード	EW-76*
レンズキャップ	レンズキャップ7-14*
レンズダストキャップ	レンズダストキャップRF*
ケース	LP1219*

* レンズに同梱されていますが、単品でも購入できます。

主な仕様

- レンズの長さはレンズマウント面からレンズ先端までの寸法です。付属のレンズキャップ、フードおよびダストキャップをつけたときの長さは寸法表示+27.6mmになります。
- 最大径×長さ・質量は本体のみの値です。
- クローズアップレンズ250D/500Dは使用可能なサイズがありません。
- エクステンダーは使用できません。
- 一部のカメラ*では、このレンズを使った動画電子ISはできません。
* EOS R, RP, Ra
- 連写中のズーミングで、画像が乱れる可能性があります。
- 記載データはすべて当社基準によります。
- 製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。
- 開放絞りから絞りを1クリック分だけ変更したときに、絞り数値の表示が変化しない、または2クリック分変化することがあります。この現象は絞り数値の表示上の制約によるもので、実際の露出制御は適切に行われます。

修理対応について

- 1.保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客様にてご負担願います。
- 2.本製品の修理対応期間は、製品の製造打切り後7年間です。なお、弊社の判断により修理対応として同一機種または同程度の機種への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、お手持ちの消耗品や付属品がご使用いただけなくなることがあります。
- 3.修理品をご送付の場合は、撮影された画像を添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。

キヤノンEOSホームページ

canon.jp/eos

キヤノンお客様相談センター

0570-08-0002 (つながらないときは 03-6634-4264)

受付時間〈平日/土〉9:00～17:00

(12月31日から1月3日は、休ませていただきます。)

※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

Canon